

# HAC事業計画見直し

## 月内に追加借り入れへ

北海道エアシステム（HAC）の経営問題で、道は

6日、同社が1月に引き続き、今月末にも地元2行から運転資金借り入れを行う見通しを明らかにした。道議会新幹線・総合交通体系対策特別委員会では、道の経営監視の態勢を疑問視する声が出た。

道側は「経営状況を注意深く見ていかなければならない。今後とも対応が遅れ

ないようにする」（荒川裕生・道総合政策部長）と対処方針を示したが、「悪化している状況で、少し認識が甘い」（民主党・道民連合の梶谷大志道議）と指摘が出た。

道によると、同社は事業計画の見直しに着手した。昨年8月以降の旅客収入が修正事業計画と比べて累積で7400万円少なく、新たな経費削減策を検討する必要があるとした。2014年度に黒字化する方針は堅持するが、13年度の事業計画の旅客収入は再検証する。

昨年12月以降の暴風雪による大量欠航で、同社では旅客収入の減少が続く見通しで、具体的な借入額は、「今月の利用状況、収支状況を見ながら検討し

る。」と見直しを要するとしている。道は、今後の経営状況を注視し、必要に応じて追加借り入れを行う見通しを明らかにした。